

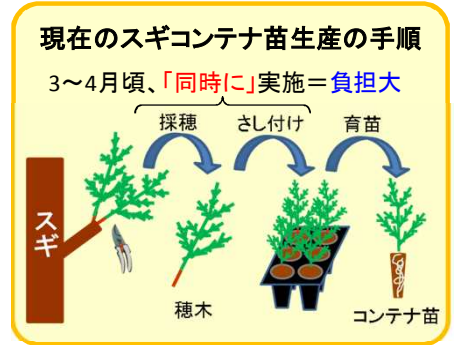
作業時期の分散が可能に！スギコンテナ苗用穂木の低温貯蔵

【研究のポイント】

【試験実施の目的】
 春期に集中している採穂とさし付け作業の時期を分散させることで苗木生産者の負担を軽減し、スギさし木苗の増産並びに県内自給率向上を図ることを目的として、コンテナ苗用の穂木の低温貯蔵の試験を実施しました。

【研究成果】
 成長休止期（11月～3月）に採穂した穂木は、少なくとも4月までは発根率を落とさず貯蔵できることが分かりました。

【今後の動き】
 大分県では、貯蔵条件等の詳細を検証した上で施設の導入について検討しています。



コンテナ苗とは？
 コンテナで生産した根鉢付きの苗

特徴

- ・植栽可能な期間が長い
- ・植栽効率が良い

【研究の成果】

試験方法

- ① 成長休止期(11月～3月)の各月で採穂を実施
- ② 各月に採穂した穂木は梱包後4月まで低温貯蔵(4℃)
- ③ 貯蔵後の穂木をさし付け1年間育苗の後発根を調査

梱包後の穂木

コンテナにさし付けた穂木

試験の結果

貯蔵後の発根率はほぼ100%

成長休止期の穂木は低温貯蔵が可能

採穂時期	発根率 (%)
11月	100
12月	100
1月	100
2月	100
3月	100

発根の状況

低温貯蔵により採穂とさし付けの時期を分散することが可能に!

【生産者の声】

(有)キヨタキナーセリー 代表取締役 清瀧 毅氏

さし木による苗木の生産は作業時期の集中が一つのネックとなっています。低温貯蔵方法の確立によって我々の負担を減らすことが可能になるので、今後に期待しています。

【連絡先】

担当：農林水産研究指導センター 林業研究部 森林チーム
 TEL：0973-23-2146
 住所：大分県日田市大字有田字佐寺原35